

失敗しない
買い物のために

SDメモリーカード、どれを買いますか？

10年以上前にメモリーカードの特集をしましたが、それからかなりメモリーカード事情も変わりました。以前はスマートメディア、メモリースティック、xDピクチャーカード、コンパクトフラッシュなど多くの規格がありました。メモリースティックやコンパクトフラッシュはまだデジカメなどで使われていますが、現在ではSDメモリーカードが大きなシェアを獲得しています。AndroidスマホではmicroSDカードは必須ですね。今回はそのSDメモリーカードについて、規格、種類、性能などをお伝えしたいと思います。SDメモリーカードの買い替えや追加購入の際に、どれを買えば良いのか、参考にしてください。

デジカメはSD、ケータイ、スマホはmicroSD

一口にSDメモリーカードと言いますが、厳密にはSD、SDHC、SDXCなどの規格があり、microSD、miniSDなどの大きさ、それに処理速度の違いがあります。



大きさは、SD、SDHC、SDXCに関係なく32mm×24mm、microSDもSDHC、SDXCに関係なく、15mm×11mmに決まっています。

この中間のサイズに「miniSD」もありますが、現在ではほとんど見られなくなりました。大きさを間違えて購入する事はないと思いますが、Androidスマホの場合は、microSDを使用しています。デジカメはほとんどがSDサイズのカードを使用しています。

microSDはSD変換アダプターを使用することで、SDとして使用できます。

SD変換アダプター



容量で呼び方が変わるSDメモリーカード

SDメモリーカードには、SD、SDHC、SDXCの規格がありますが、この違いはデータの容量によって決まります。

	容量
SD	~2GB
SDHC	2GB~32GB
SDXC	32GB~2TB
SDUC※	2TB~128TB

左の表の通り、SDは2GBまでの容量です。4GBのSDメモリーカードになると、SDHCとなります。海外のよくわからないメーカーの製品には、SDメモリーカードなのに4GBの製品も見かけることがありますが、それは規格を無視した製品なのでなるべく購入は控えましょう。

最近ではドライブレコーダーにmicroSDカードが使用されていますが、ドライブレコーダーは機種によって、記録媒体の容量が最大32GB (SDHC)、最大128GB (SDXC)などと決まっていますので、カード購入時には説明書やメーカーのホームページを確認しましょう。

データの処理速度に注目！

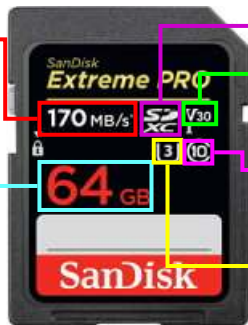
同じ規格で同じ容量でも価格が大きく違う製品があります。それはデータの処理速度が違うからです。処理速度を表す記号を紹介します。

読み取り速度

数値が大きいほどパソコンへの取り込み速度もUp!

容量

最近では32GB~128GBがよく利用されているようです。



規格ロゴ

ビデオスピードクラス

V6/10/30/60/90の5つ

スピードクラス

CLASS2/4/6/8/10の5つ

UHSスピードクラス

クラス1、クラス3の2つ

ビデオ撮影やデジカメでの連写などは、書き込み速度が速くないといけません。そこで各スピードクラスのチェックが必要になります。「スピードクラス」とは最低保証速度のことです。4K動画をビデオ撮影する場合は、スピードクラスならCLASS6以上、UHSスピードクラスなら1以上、ビデオスピードクラスならV6以上が必要です。デジカメで連写する場合は「書き込み速度」が重視されます。スピードクラスが大きなもの、UHSスピードクラスが大きなものは書き込み速度も速いので要チェックです。ただし、UHSはカメラも対応していないと書き込み速度は上がりませんので注意が必要です。



スマホで使用する時は、ここをチェック



iPhoneをご利用の方には関係ないかもしれませんが、microSDカードには、通常サイズのSDメモリーカードには無いマークが付いています。左の画像の赤丸部分に表示されているマークです。A1と

A2の2種類があり「アプリケーションパフォーマンスクラス」と呼ばれるものです。SDメモリーカード上のデータ編集などを含むアプリケーションを快適に利用するための規格です。A1よりA2の方が高性能ですので、Androidをお使いで、お金に余裕があれば、A2カードを選びましょう。A1やA2の表示が無いものは「アプリケーションパフォーマンスクラス」には未対応ですが、普通に使用はできますよ。

結局、どれを選べばいいの？

まず自分が使用する機器が、SDカードとmicroSDカードのどちらに対応しているのかを確認しましょう。次は容量ですが、使用する機器の規格(SD、SDHC、SDXC)と容量の上限をチェックしましょう。

スピードクラスは、CLASS10であれば問題ないでしょう。ただし、デジカメで高解像度の連写をよく使用する場合は、UHS対応のカードが良いでしょう。もちろんデジカメもUHSに対応している必要があります。ビデオの撮影が目的なら、ビデオスピードクラスがV30以上、機器が対応していればUHSスピードクラスがU3をおすすめします。

Androidのスマホで使用するならA1またはA2のマークもチェックです。

機器にあったカード、用途にあったカードを選びましょう。

開発室から



大型連休が終わるとすぐに母の日ですが、日本では3月に母の日を行っていたことがあったそうです。明治時代末期にアメリカから伝わった母の日ですが、昭和に入ると皇后の誕生日だった3月6日が母の日になったそうです。戦後にアメリカと同じ5月の第2日曜日になったようです。赤色のカーネーションは「母への愛」、白いカーネーションは「尊敬」の意味があるそうです。

